

児童生徒の体力・運動能力比較

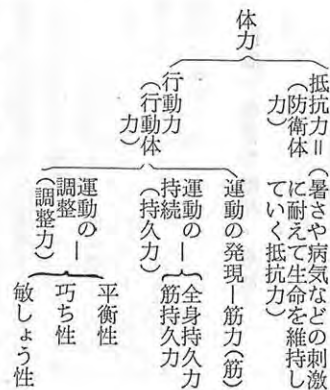


(熊本市立城西小藤岡教諭写す)

最近の中高生の体力をいろいろな点から検討してみました。それによると、県内の中高生は体力、運動能力ともに全国平均に比べてかなり劣っていることがわかりました。今後、どうすれば、体力、運動能力が向上できるか、大きな課題のようです。

△体力の全国比較▽

体力の定義には、諸説がありますが、文部省の指導書では、次のように体力を説明しています。



体力の現状

「最近の子どもは体格はよいが体力がない」。これは現代っ子に対する一般社会人の評価であります。

文部省では、昭和三十八年度からスポーツテストを全国的に実施し、わが国青少年の体力の実態の把握につとめています。そのテストの種目が「体力診断テスト」と「運動能力テスト」の二つで、体力診断テストは、体力を敏しょう性、筋力、瞬発力、柔軟性、持久性の面からとらえています。運動能力テストは、走る、跳ぶ、投げる、懸垂するなどの能力をみようとする考え方に立っています。

(1) 小学生の体力

小学校においては体力診断テスト

(2) 中学生の体力

が未実施のため、運動能力テストだけで小学生の体力を評価することは問題ですが、図11、19で見られるように、すべての能力が全国平均値を上回っています。

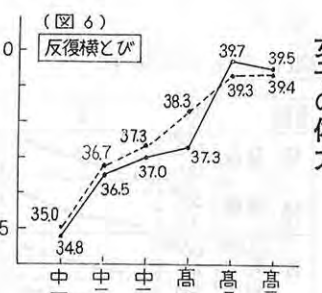
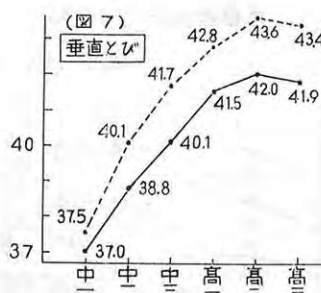
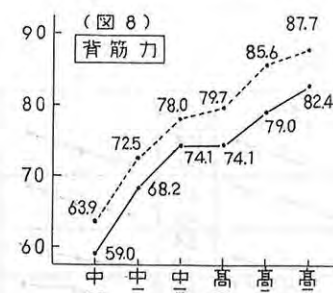
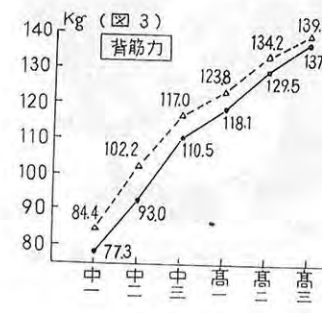
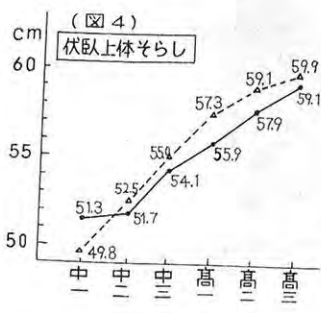
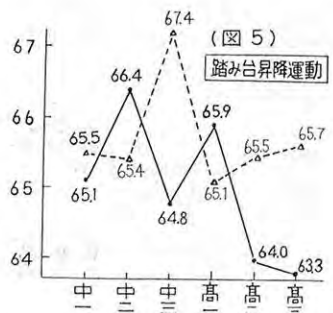
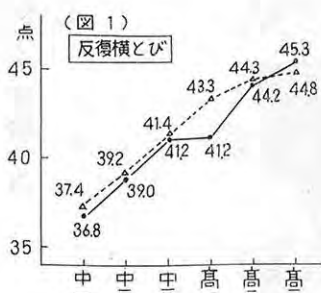
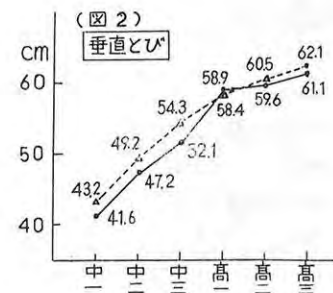
体格と体力

図21、23は、各学年の体格と体力の発達の状況を昭和三十九年度を基点としてみると、全学年、身長・体重は順調な発達をしているが、運動能力においては、十一歳の小学生を除き、部分的ではあるが、停滞または下降の傾向にあります。文部省の統計調査の結果では、体力、運動能力の発達のピークは、男子十七

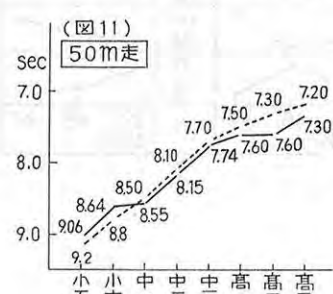
歳、女子十三〜十四歳となっています。本県の実態はむしろこの年齢層で停滞又は下降しているのが気になりであり、積極的な立直しの対策が望まれるものであります。

体力・運動能力の全国比較 男子の体力

例……全国平均値
凡……熊本県平均値



女子の体力



男子の運動能力

